

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式			
M314M101		解剖学 (Human Anatomy)					コース共通専門分野	対面			
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態			
必修	1	1	医学部先進医療科学科	前期	火3,金5	日本語	英語	オムニバス			
担当教員	氏名 井上 亮、穴井博文、田仲和宏、兒玉雅明、手嶋泰之、友雅司、内田智久、加隈哲也、正木孝幸 E-mail ryo@oita-u.ac.jp 内線 5051										
授業の概要	人間の生活行動を支えるからだの構造・機能について、基本的な全身解剖を理解し、説明できることを目標とする。										
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1 2 3 4 5 6 7			
目標1	中枢神経系の基本的な解剖を説明できる										
目標2	筋骨格・末梢神経系の基本的な解剖を説明できる										
目標3	心血管系の基本的な解剖を説明できる										
目標4	消化器系の基本的な解剖を説明できる										
目標5	内分泌系の基本的な解剖を説明できる										
目標6	腎・泌尿器系の基本的な解剖を説明できる										
目標7	感覚器系の基本的な解剖を説明できる										
目標8	生殖器系の基本的な解剖を説明できる										
目標9											
目標10											
各DPへの関連度(計10)							6	2			2
授業の内容											
1	解剖学総論										
2	中枢神経系の解剖										
3	中枢神経系の解剖										
4	筋骨格・末梢神経系の解剖										
5	筋骨格・末梢神経系の解剖										
6	心血管系の解剖										
7	心血管系の解剖										
8	消化器系の解剖										
9	消化器系の解剖										
10	消化器系の解剖										
11	消化器系の解剖										
12	内分泌系の解剖										
13	内分泌系の解剖										
14	腎泌尿器系の解剖										
15	感覚器系/生殖器系の解剖										
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認	日々の課題学修、				工 夫 そ の 他 の	LMS、動画 *Moodleを活用				
B:意見の表現・交換	Medical Focusを用いた知識の医療への応用										
C:応用志向	課題レポート										
D:知識の活用・創造											
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	配布授業資料・教科書の確認、日々の課題の調べ学習(毎回1h:計15)									
	事後学修	授業内容を整理しポートフォリオとしてまとめる(計8h)									
	想定時間合計	23									
教科書	坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀:系統看護学講座専門基礎分野 解剖生理学 第12版(2026)、医学書院 ISBN978-4-260-06184-1 Martini,F. et al.(著)、井上貴央(監訳):カラー人体解剖学一構造と機能:ミクロからマクロまで(2012)、西村書店 ISBN 978-4-89013-305-5										
参考書	適宜呈示										

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		学期末試験	100%									
注意事項	講義資料・教科書を用いて必ず予習し、主体的・積極的に授業に臨むことを期待する。											
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖学と解剖学実習は連動して展開するので、人体解剖見学実習（予定）には必ず参加すること</li> <li>・看護学科、先進医療科学科と合同開講とする</li> </ul>											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	先進医療科学科と看護学科の医系教員：臨床実績のある医師											
実務経験を いかした教 育内容	ヒトのからだの構造と機能に関する知識を具体的に解説する。											